



2015年3月期 決算説明会

2015年4月28日
株式会社デンソー

DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

1. 売上は、海外での生産の増加により増収
営業利益は、将来に向けた投資や、
海外の工場立ち上げ費用の増加により、減益

2. 年間配当は、110円(前年比5円増配)

3. 来期は、売上・営業利益ともに増収増益

2015年3月期 連結決算

02 /38

	()内は売上高比		【単位:億円】	
	15/3期実績	14/3期実績	増減額	増減率
売上高	43,088	40,959	+ 2,128	+ 5.2%
営業利益	(8.2%) 3,551	(9.2%) 3,777	△226	△6.0%
経常利益	(9.2%) 3,974	(10.2%) 4,196	△221	△5.3%
税引前利益	(9.9%) 4,272	(10.2%) 4,186	+86	+2.1%
当期純利益	(6.8%) 2,931	(7.0%) 2,874	+57	+2.0%
為替レート	110円/ドル 139円/ユーロ	100円/ドル 134円/ユーロ	10円 円安 5円 円安	
国内車両生産	921万台	949万台	△28万台	△ 3.0%
海外日系車生産 (内、北米)	1,834万台 (600万台)	1,770万台 (543万台)	+ 64万台 (+57万台)	+ 3.6% (+10.5%)

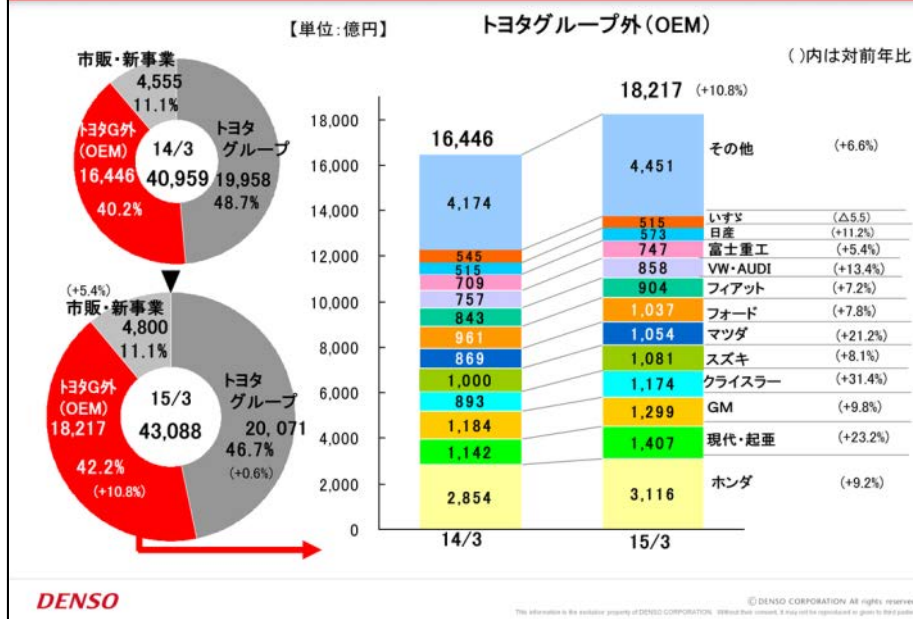
DENSO ©DENSO CORPORATION All rights reserved.
The information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given in full or part.

<連結決算概要>

- ・売上高は4兆3,088億円。
前年比 + 2,128億円、5.2%の増収となりました。
- ・営業利益は、3,551億円と、前年比▲226億円、6.0%の減益。
営業利益率は、8.2%となりました。
コストダウンや生産性向上による合理化努力に加え、
売上増加による操業度差益があったものの、
将来に向けた研究開発費や能力増強投資の増加等により、
減益となりました。
- ・営業外収支 423億円を加え、経常利益は3,974億円。
前年比 ▲221億円、5.3%の減益。
経常利益率は9.2%となりました。
- ・特別損益等を含む、当期純利益は2,931億円。
前年比+57億円、2.0%の増益となりました。

2015年3月期 連結売上高増減要因(得意先別)

03 /38



<得意先売上>

トヨタグループ向け

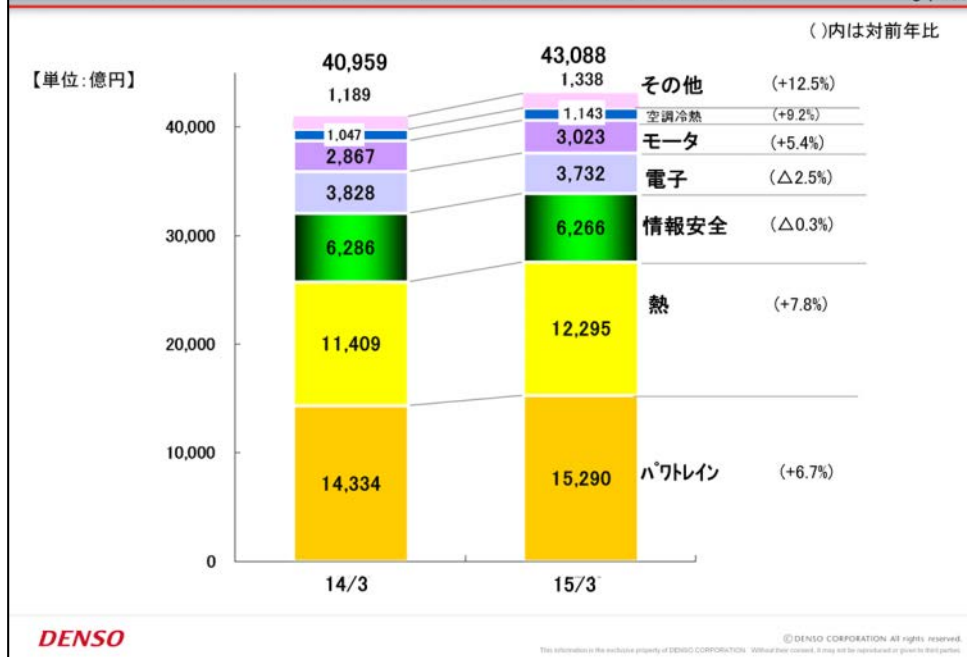
国内車両生産の減少により売上は微増にとどまりました。

トヨタグループ以外日系カーメーカー向け

- ・ホンダは、主に北米や豪亜での車両生産の増加により、
- ・スズキは、日本での車両生産の増加に加え、
リチウム電池パック拡販により、
- ・マツダは、SKYACTIV用直噴製品やディーゼル製品などの拡販により、
それぞれ売上は増加しました。

海外カーメーカー向け

- ・現代・起亜は、北米での車両生産の増加に加え、
エアコン製品の拡販により、
- ・クライスラーは、北米での車両生産の増加により、
それぞれ売上が増加しました。



<製品別売上>

パワトレイン

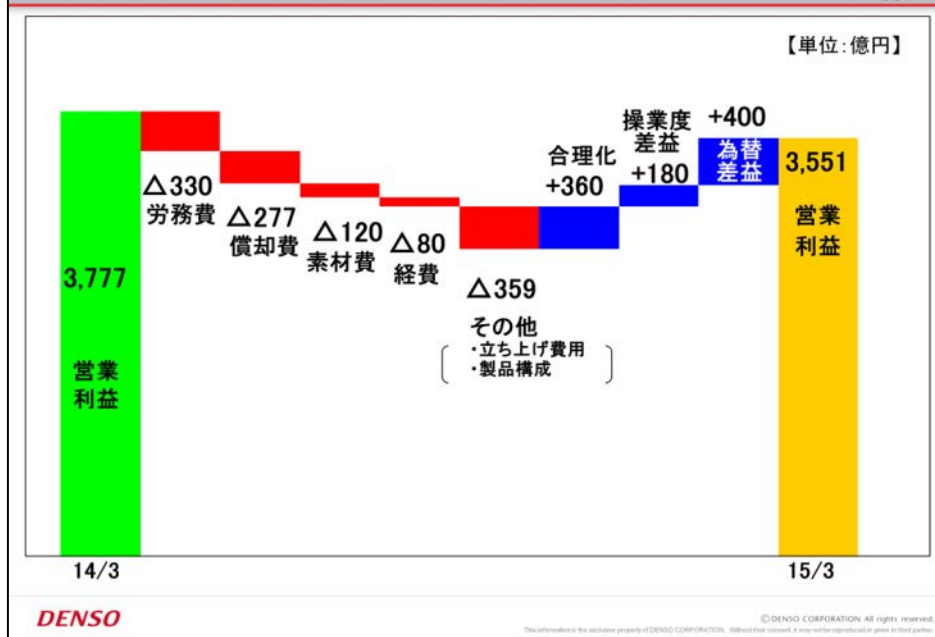
ガソリン直噴製品の拡販により、売上が増加しました。

熱

北米、欧州地域での、車両生産増加やカーエアコンの拡販により、売上が増加しました。

情報安全

ナビの売上が減少しましたが、
 今後はIVI製品や安全製品の拡販により、
 売上は増加していくと考えております。



< 営業利益の増減要因 >

主な点は以下の通りです。

マイナス要因

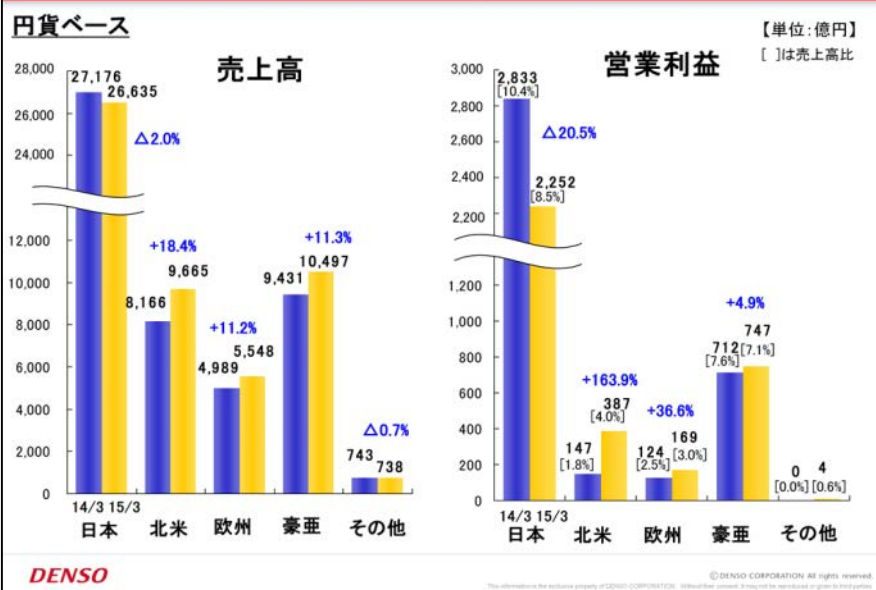
- ① 労務費増 ▲330億円は、新興国での賃金増加や、
研究開発の強化によるものです。
- ② 償却費増 ▲277億円は、能力増強投資によるものです。
- ③ その他 ▲359億円は、
開発新製品や海外工場の立ち上げ費用、
小型車シフトによる製品構成の悪化や、国内売上の減少によるものです。

プラス要因

- ① 合理化努力 +360億円は、コストダウンや生産性向上によるものです。
- ② 操業度差益 +180億円は、生産の増加によるものです。
- ③ 為替差益 +400億円は、主にドルで10円、ユーロで5円の
円安によるものです。

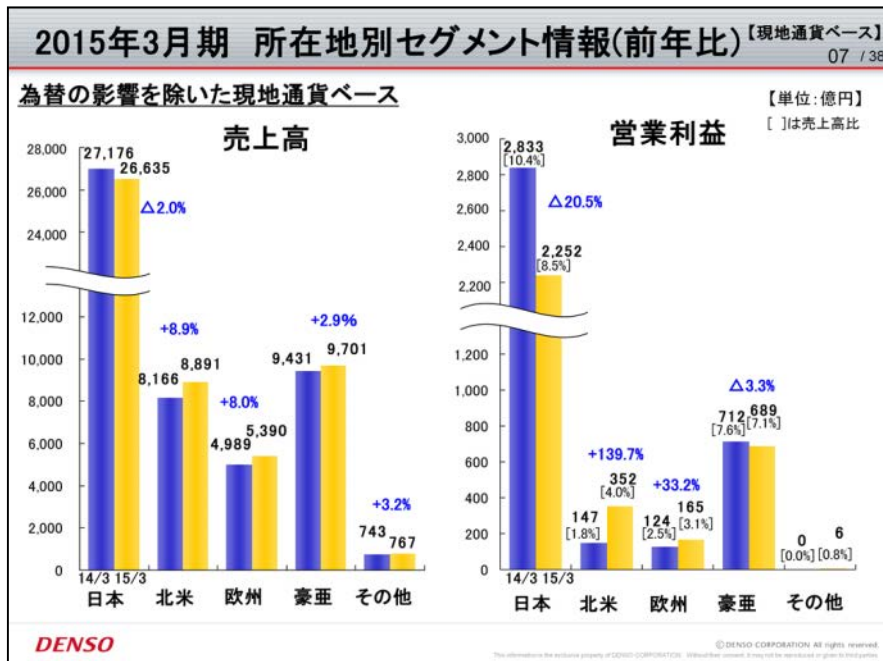
以上により、営業利益は3,551億円となりました。

2015年3月期 所在地別セグメント情報(前年比) 【円貨ベース】 06 / 38



<地域別の売上・利益(円貨ベース)>

次ページにて、現地通貨ベースで説明



<地域別の売上・利益(現地通貨ベース)>

日本

- ・売上は、小型車シフトや海外向け売上の減少により、前年比 ▲2.0% の減収となりました。
- ・利益については、売上減少による操業度差損や、労務費等の増加により、前年比 ▲20.5% の減益となりました。

日本以外(現地通貨ベース)

- ・北米、欧州では、生産の増加等により増収・増益となりました。
- ・豪亜では、主に中国での車両生産の増加により増収となりましたが、将来の成長のための工場・テクニカルセンター立ち上げ費用や、労務費が増加したことにより、減益となりました。

2016年3月期 通期予想

08 / 38

	()は売上高比		【単位:億円】	
	16/3期予想 IFRS	15/3期実績 日本基準	増減額	増減率
売上高	44,700	43,088	+1,612	+3.7%
営業利益	(8.5%) 3,800	(8.2%) 3,551	+249	+7.0%
税引前利益	(9.1%) 4,070	(9.9%) 4,272	▲202	▲4.7%
当期純利益	(6.2%) 2,750	(6.8%) 2,931	▲181	▲6.2%
国内車両生産	909万台	921万台	▲12万台	▲1.3%
海外日系車生産 (内、北米)	1,904万台 (637万台)	1,834万台 (600万台)	+70万台 (+37万台)	+3.8% (+6.2%)
為替レート	115円/ドル 125円/ユーロ	110円/ドル 139円/ユーロ	5円円安 14円円高	
1円変動の 利益影響額	25億円/ドル 7億円/ユーロ			

DENSO ©DENSO CORPORATION All rights reserved.
The information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without their consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<通期連結予想>

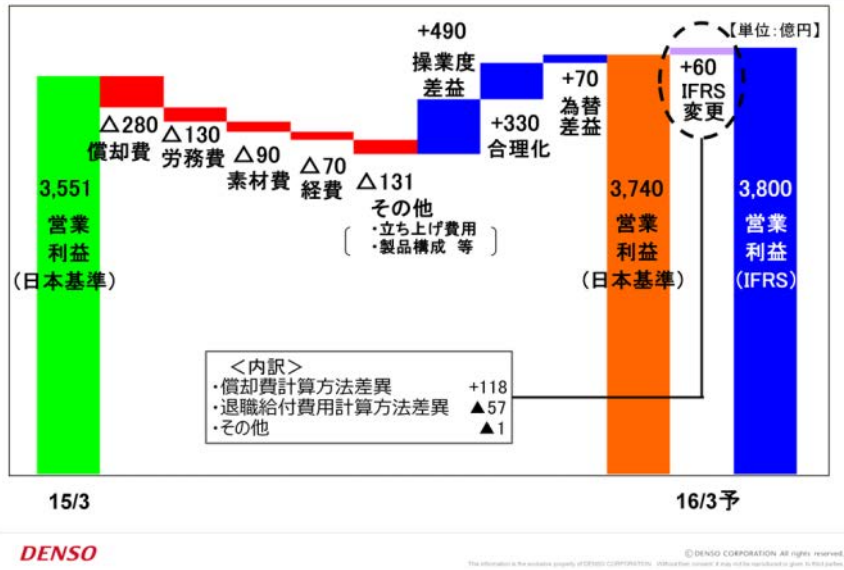
来期からは、従来の日本会計基準に替えて国際会計基準(IFRS)を適用いたしますので、IFRSベースでの予想とさせていただきます。

来期の売上高は、4兆4,700億円、

営業利益は、3,800億円を見込んでおります。

前提となる為替レートは、ドル115円、ユーロ125円です。

日系車両生産台数は、国内は 909万台、海外は 1,904万台と想定しております。



<通期予想の営業利益増減要因>

(日本基準ベースで増減分析した上で、IFRS変更による差を掲載)

日本基準ベースの増減としては、

償却費、労務費、素材費などの増加がマイナス721億円。

操作度差益、合理化努力等により、プラス890億円。

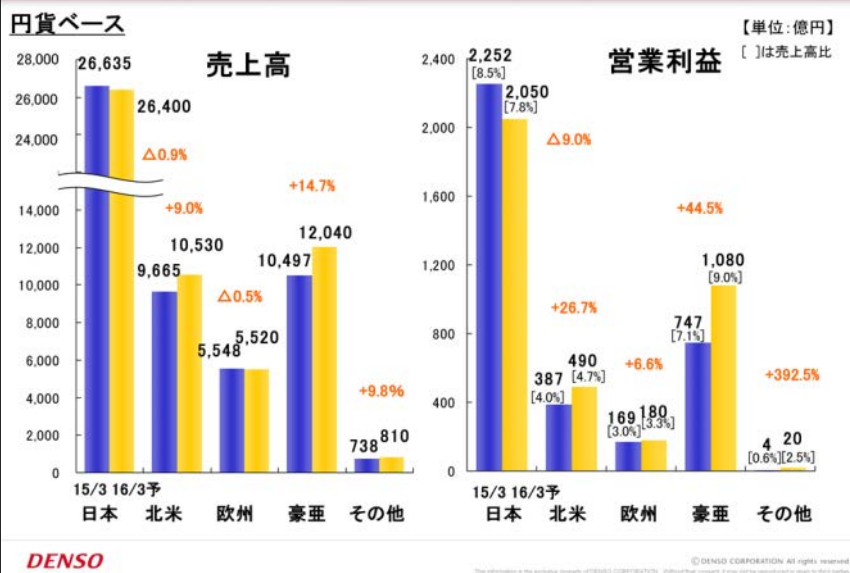
営業利益は前年比189億円増加し3,740億円となる見込みです。

さらに、会計基準変更による影響として、プラス60億円。

その内訳は、償却費計算方法差異による影響がプラス118億円、

退職給付費用の計算方法差異による影響がマイナス57億円。

結果、IFRSベースの営業利益は、3,800億円と見込んでおります。



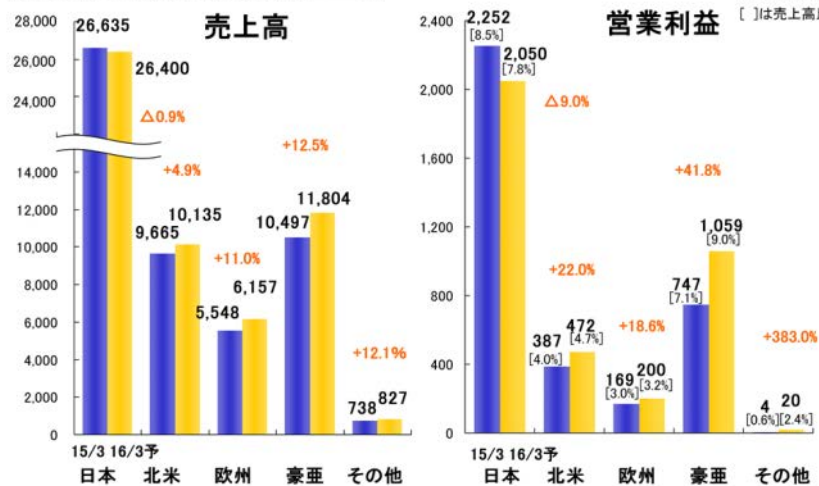
<通期予想の売上・営業利益(円貨ベース)>

次ページにて、現地通貨ベースで説明

為替の影響を除いた現地通貨ベース

【単位：億円】

[]は売上高比



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved.

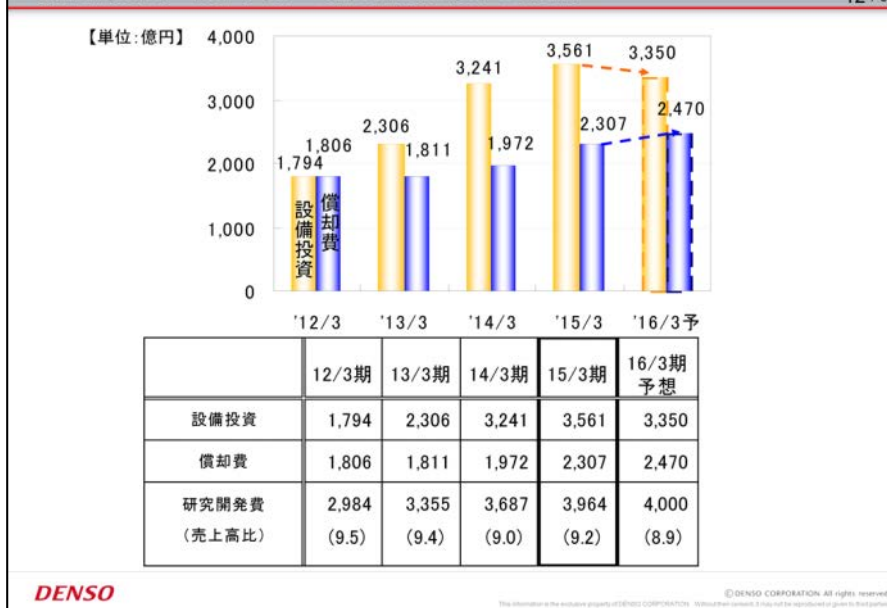
<通期予想の売上・営業利益(現地通貨ベース)>

日本は、減収減益、

日本以外の地域は、増収増益となる見込みです。

設備投資・償却費・研究開発費の推移

12 / 38



<設備投資、償却費、研究開発費>

設備投資

- ・当期の実績は、3,561億円と、前年比320億円の増加となりました。
- ・来期は引き続き、新製品のグローバル展開を行い、通期予想を3,350億円といたします。

償却費

- ・当期の実績は、2,307億円と、前年比+335億円の増加となりました。
- ・来期は、2,470億円と、+163億円の増加を見込んでおります。

研究開発費

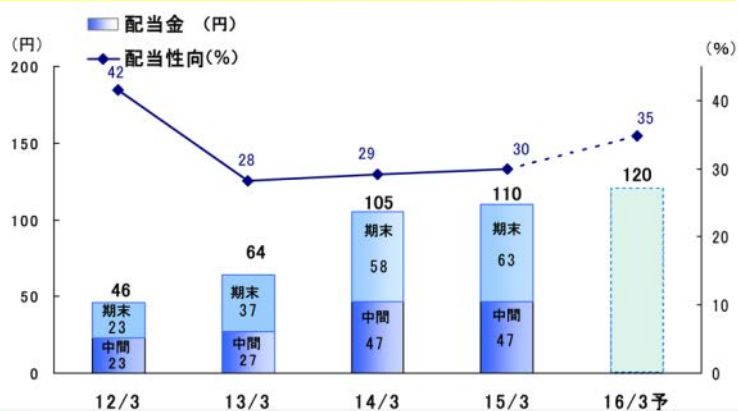
- ・当期の実績は3,964億円と、前年比277億円の増加となりました。
- ・来期は、14年度と同水準の4,000億円として、引き続き、環境、安全分野を中心に、製品開発を強化していきます。

株主還元方針

1. 連結業績および配当性向・配当金額等を総合的に勘案しながら、長期安定的に配当水準を継続的に向上
2. 内部留保については、今後の事業成長を長期的に維持するための投資(設備、研究開発、M&A等)に活用するとともに、資金等状況を考慮の上、自己株式取得にも充当

15/3期： 配当 14/3期より 5 円増配の 110円を予定

16/3期： 配当 15/3期より 10円増配の 120円を予定
自己株式取得 5百万株・300億円



DENSO

© DENSO CORPORATION. All rights reserved. This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without prior consent, it may not be reproduced or given to third parties.

<配当>

- ・15年3月期の年間では、
前年より5円増配の110円を予定しております。
- ・16年3月期の配当は、
10円増配の年間120円とさせていただきます予定です。

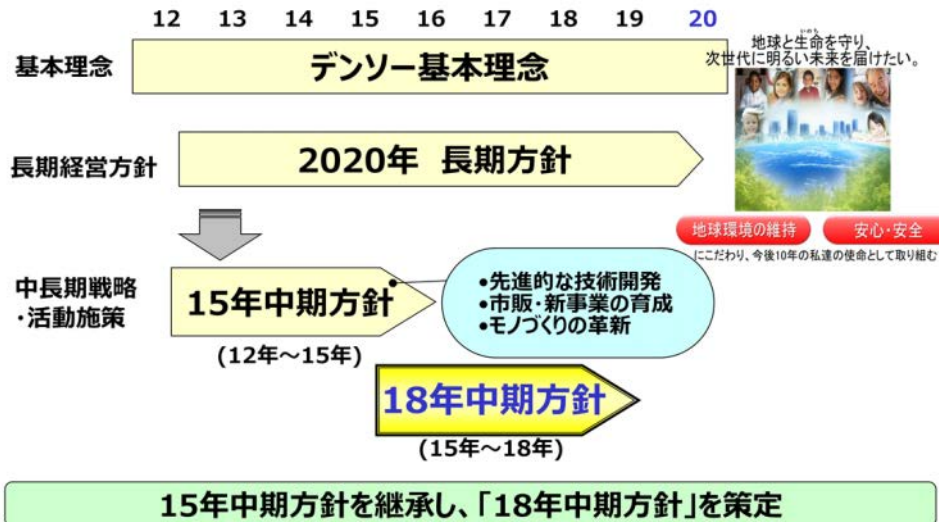
また、資本効率の向上と株主への一層の利益還元のため、5百万株・300億円を上限として自己株式を取得する予定です。

今後とも、企業価値の向上に努めるとともに、配当および自己株式取得による一層の株主還元を図ってまいります。

デンソーグループ18年中期方針について

1. 18年中期方針
2. 注力する事業
 - (1) 環境、安心・安全
 - (2) 市販・新事業
 - (3) 海外市場

18年中期方針の位置付け



2020年長期方針では、“地球環境の維持”“安心・安全”に特にこだわって取り組んでいくことと致しました。

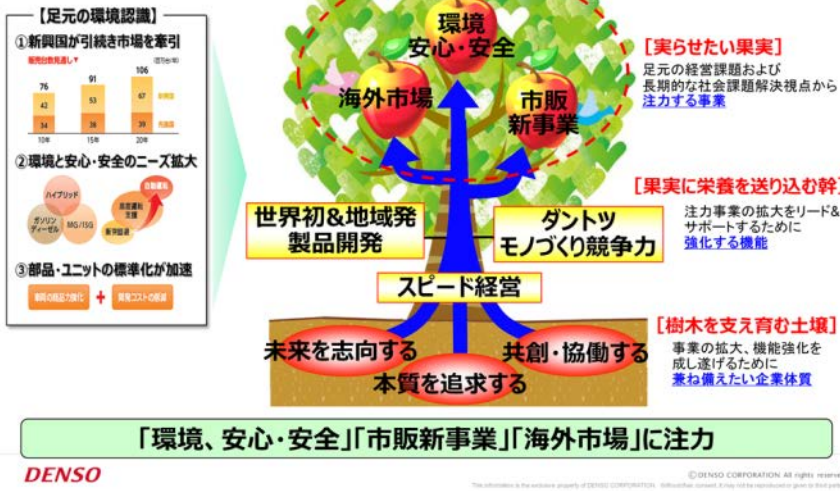
その達成に向け、15年中期方針を策定し、、
「先進的な技術開発」「市販・新事業の育成」「モノづくりの革新」
に取り組んでまいりました。

結果、「先進的な技術開発」では、特に環境製品、予防安全の商品を投入し、カーメカのヒット商品の創出に貢献でき、海外メーカーとのパイプも太くなりました。
「市販」ではトータルカーサービス、「新事業」では住宅のマイクログリッド、また温室栽培での生産性を向上させた農業支援など、エンドユーザへのケアまで視野に入れた取り組みに一步踏み出せたと思っております。
「モノづくりの革新」では、1/N設備導入によるダントツ工場づくりを国内中心に推進し、コスト競争力を強化してまいりました。

今回の18年中期方針は、20年度までの長期方針のもと、15年中期方針を進化させ、活動をより加速させるとともに、その先を見据え、持続的な成長につながる活動に取り組んでまいります。

1. 18年中期方針

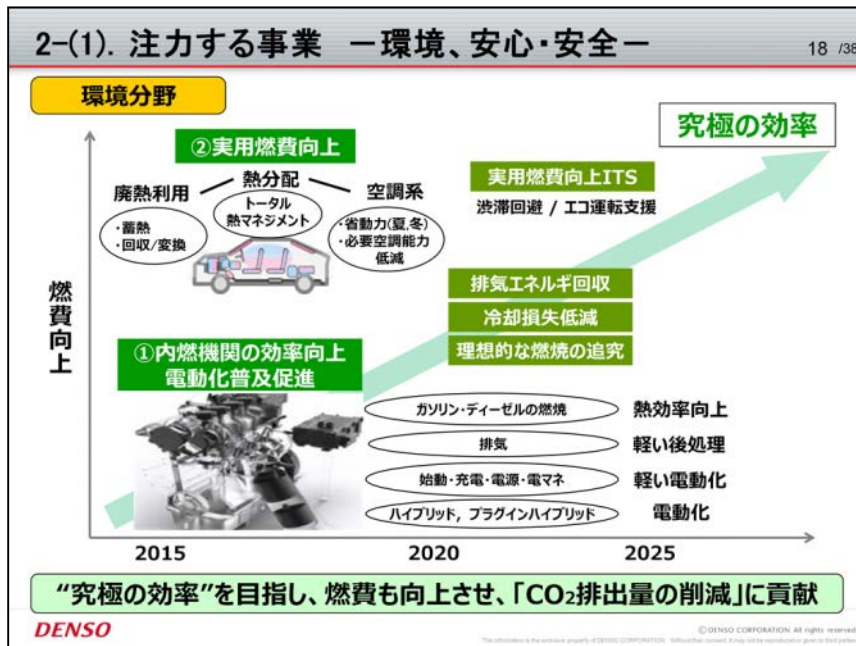
18年の目指す姿



18年の目指す姿ですが、
注力する事業の一つ目は「環境、安心・安全」です。

二つ目は「市販・新事業」です。
「市販・新事業」を通じて、社会ニーズ、エンドユーザーニーズといった
視点を培い、重視する文化に変えてまいります。

三つ目は海外市場です。環境、安心・安全をはじめとした
新しい価値をより多くの人々に届けたいと思っています。



＜環境分野＞

地球環境維持のため、CO₂排出量削減という課題解決に向けたシステム商品を創出してまいります。

「究極の効率」をめざし、内燃機関については、燃焼、排気の技術開発を行い、内燃機関全体の効率向上を図ります。またCO₂排出とは無縁な電動化の普及も促進すると同時に、熱マネジメントや空調の効率向上、ITSなどを活用を通じて実用燃費の向上にも取り組んでまいります。

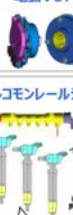
(事例①)内燃機関の効率向上・電動化普及促進

～ マツダSKYACTIVシリーズ ～

ガソリン直噴システム



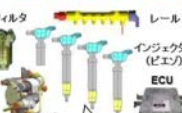
電動VCT



ATモジュール



ディーゼルコモンレールシステム



フィルタ



レール



インジェクタ



(ピエゾ)



ECU



ポンプ



～ ボルボ ディーゼル ～

“i-ART”内蔵インジェクタが採用された。内燃機関の効率向上と排ガス低減を両立。

「デミオ」に小型車向けの新型インジェクタが採用された。



～ アイドル・ストップ・システムの進化 ～

タンデムソレノイドスタータ



Li電池パック



蓄冷エバポレータ



バッテリーマネジメントユニット



電源切替スイッチ



電池セル



～ ハイブリッド車製品 ～



インバータ



モータジェネレータ

「内燃機関の効率向上・電動化」をさらに加速

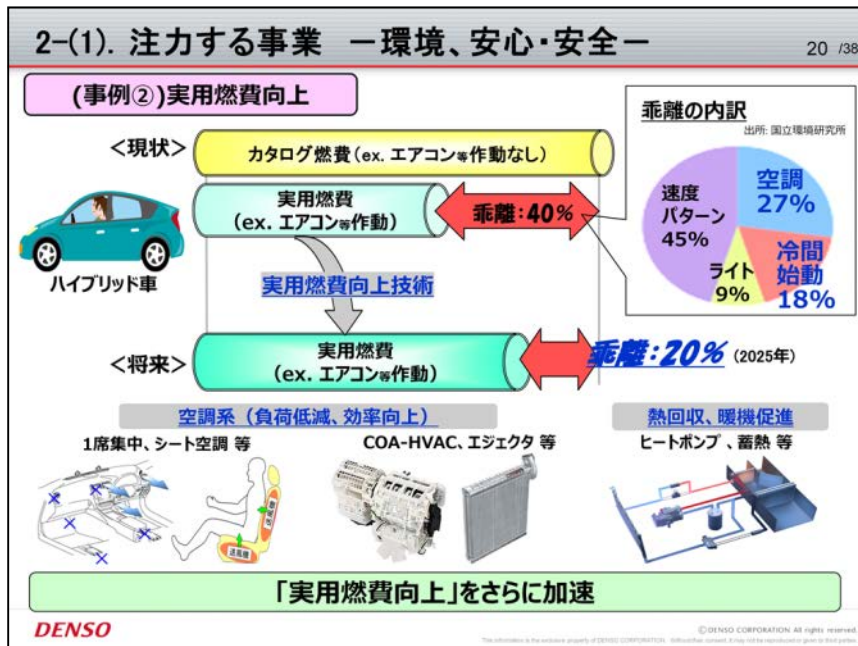
DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

①内燃機関の効率向上・電動化普及促進

内燃機関の効率向上、電動化は製品の小型/軽量化を進めながら、従来より、このようなパワートレイン製品をカーメーカーズに合わせて提案してまいりました。

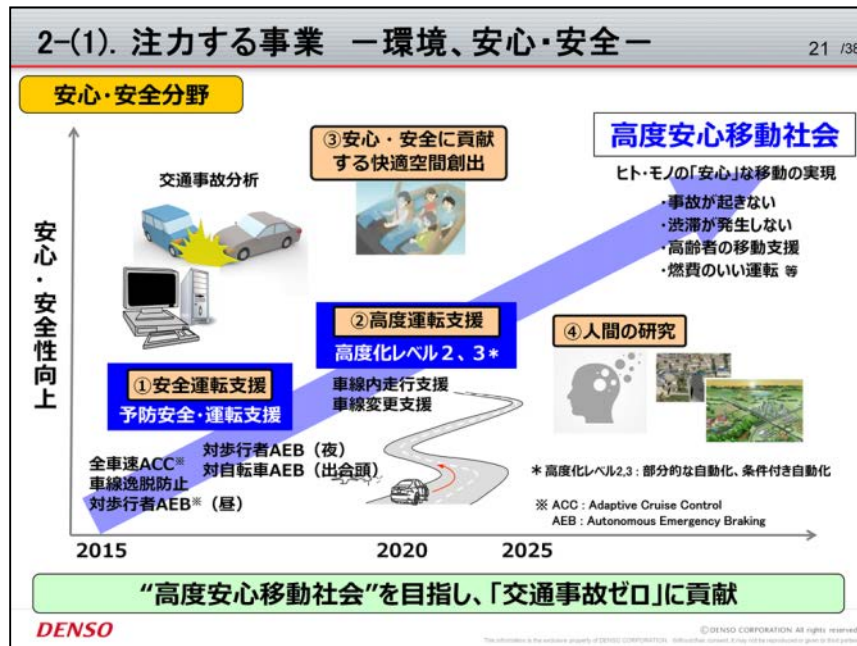
今後も、より高圧で安定的に燃焼させるガソリン直噴システムやディーゼルシステムの提供、よりサイズの小さいハイブリッド製品の提供など、それぞれの分野で、「究極の効率」を目指して、顧客・地域のニーズを満たした製品供給でビジネスを拡大してまいります。



②実用燃費向上

エアコンやライトの使用時や街乗り時の「実用燃費」とカタログ上の燃費とは状況によっては、乖離率が4割あるといわれています。

その乖離の要因である、空調、冷間始動といった観点から、2025年乖離半減を目指し、ドライバーのいるところを感知し自動で最適な空調を行う「1席集中エアコン」などの空調効率技術、外気から熱を回収するヒートポンプ技術の開発を進め、実用燃費向上のためのシステム製品を提供してまいります。

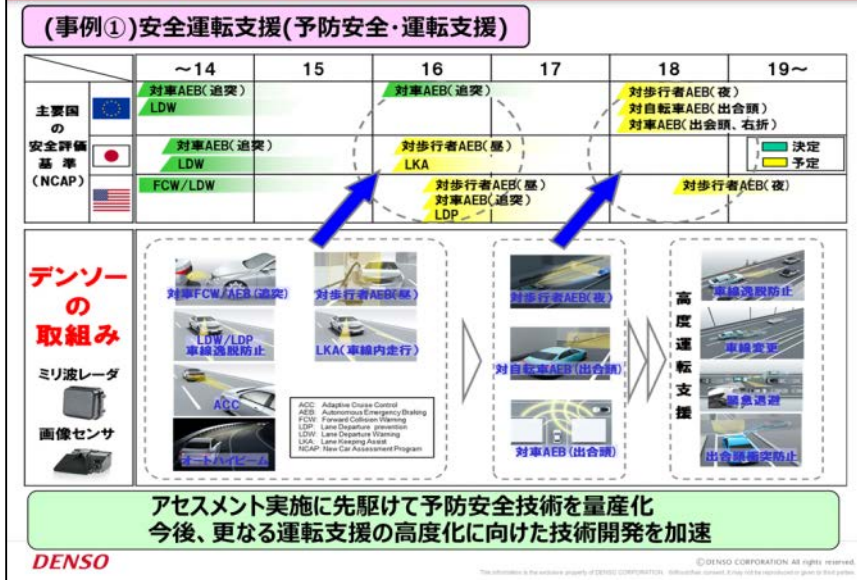


<安心・安全分野>

モータリゼーションの拡大化により

新興国を中心に自動車保有台数が増加している一方で、交通事故が増加するという負の側面があります。

デンソーは90年代から安全製品の開発に取り組んでまいりましたが、今後、「高度安心移動社会」をめざし、さらに取り組みを強化してまいります。



①安全運転支援

現在、世界全体で年間で120万人以上の方が交通事故で亡くなっているという状況も踏まえ、世界主要国ではクルマに対する安全評価基準としてNCAP(ニュー・カー・アセスメント・プログラム)を導入と強化が進んでいきます。

デンソーはこのNCAPの導入・強化に先駆けて、予防安全技術の量産を加速させてまいります。

たとえば、ミリ波レーダ及び画像センサは、トヨタ自動車が発表したミディアム・上級車向け新予防安全パッケージ「Toyota Safety Sense P」に採用され、日本・北米・欧州で発売される車両に搭載される予定です。

また、夜間、対自転車、出会いがしら、右折時といった条件下といったさらなる運転支援の高度化に向けた技術開発をおこなっており、順次、実用・量産化してまいります。

(事例②)高度運転支援(高度化レベル2,3)

カギを握る“技術”

◆想定される様々なシーンで
連続的に運転支援できる
技術開発を推進



先進技術を用いて、高度運転支援を実現

DENSO

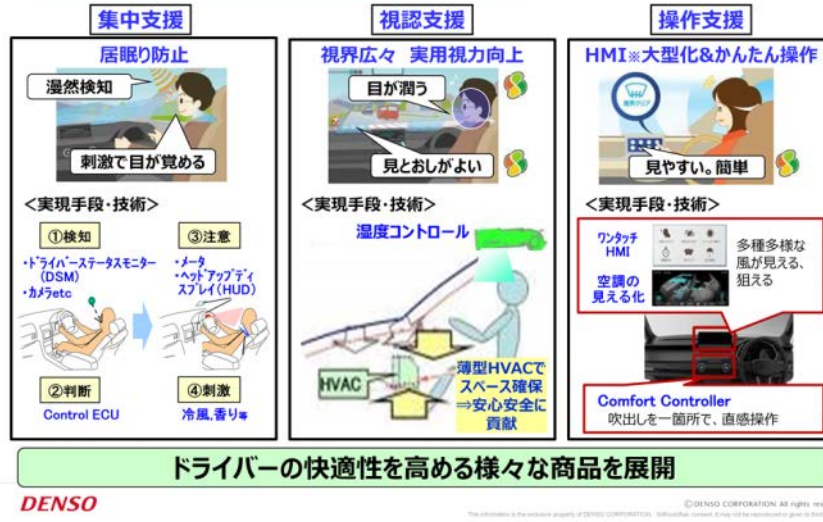
©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

②高度運転支援

デンソーは既に自動車専用道路等での実証実験を開始しておりますが、海外での実証実験含め、今後さらに実現に向けた取組みを、さまざまな分野の企業や官公庁と連携しながら加速してまいります。

(事例③)安心・安全に貢献する快適空間創出

※ HMI : Human Machine Interface

③安心・安全に貢献する快適空間創出

クルマの安心・安全に貢献するためには、ドライバーの快適性を高めていくことも重要となってきます。

冷風や香りなどを活用して運転に集中させるシステム製品、
 快適性と視認性が両立できるシステム製品、
 また見やすく直感的に操作できるようなシステム製品を
 展開してまいります。

(事例④)人間の研究

目指す姿：人のように接するHMI、人のように考える知能を実現
⇒医学、心理学にまで踏み込んだ運転に最適な状態を研究

安心感のあるクルマ

- ・意図/感情伝達
- ・自動⇄手動



感情評価、自動運転用HMI

人を見守るクルマ

- ・ドライバーが運転するうえで、適切な状態にあるのか確認



状態検知、居眠り防止技術

また乗りたくなるクルマ

- ・楽しい
- ・爽快、元気になる



五感、脳への刺激

医学・心理学の面から“クルマの安心・安全”を追究

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Individual items may not be reproduced or used in any form.

④人間の研究

現在、デンソー基礎研究所で取り組んでいる事例ですが、
ドライバーの快適性を高めたり、
ドライバーのあらゆる状態を想定した上での
「安心・安全」を追求するために、
医学や心理学にまで踏み込んだ研究も行っています。

以上のように様々なアプローチにより、
高度安心移動社会を実現させてまいります。

市販・新事業

- ・15年1月にグループ発足(アフターマーケット、空調冷熱、新事業)
- ・各分野での重点事項実施を通じ、事業成長を目指す

事業	実施事項
➢補修品	・新興国への更なる事業拡大 ・品揃え拡充(非DN OE品の追加など) ・グローバルな集中調達によるコスト競争力強化
➢用品	・重点分野(安心/安全、環境、IVI)への注力
➢サービス(事例①)	・市場高度化に対応した診断/修理事業の拡大
➢新事業(事例②)	・ソリューション事業強化に向けた販売体制づくり

社会ニーズ、エンドユーザーニーズの視点で商品・サービスを提供

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. All rights reserved. No part of this information may be reproduced without the prior written permission of DENSO CORPORATION.

<市販・新事業>

営業・事業一体のグループとすることで、
開発・販売体制の強化を狙い、
15年1月にデンソーで5つ目となる事業グループを
新たに発足いたしました。

それぞれの分野で 社会ニーズ、エンドユーザーニーズの視点から
事業成長を目指してまいります。

(事例①)サービス事業の取組み



故障診断から修理、予防整備まで連環した仕組みを構築

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

①サービス事業

故障診断から修理・予防整備までスピーディーに対応できるよう、クラウドを利用した連環した仕組みを構築し、ユーザーに安心して便利に利用いただけるサービスを、それぞれの地域で提供してまいります。



②新事業

マイクログリッド、セキュリティ、農業支援システムなど6分野で事業を開始しました。
小さく生んだ事業着実に刈り取り、さらに事業を拡大させてまいります。

今年度は交通事故の低減を目的とした交通社会インフラ分野での実証試験を推進していきます。

広く社会の課題・ニーズを解決するために、ユーザー視点での「ソリューション事業」に取り組んでまいります。

地域最適品の提供

グローバル開発体制

地域	日本	北米	欧州	豪亜	中国	インド	南米
コアテクニカルセンター(T/C)	本社	ミシガン	ドイツ	タイ	上海	デリー	ブラジル
サテライト拠点	国内G会社 韓国	テキサス, カリフォルニア	イギリス,イタリア, スウェーデン	ハノイ,フィリピン, オーストラリア	北京,西安, 台湾	—	—



クルマの価値を最大化する商品を開発し、世界の市場で普及に貢献

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.

< 海外市場 >

各国、各地域の顧客のニーズは様々で、
規制、市場・競合動向を見据えた長期的な目線で
先行開発テーマを創出する必要があります。

デンソーは、昨年7月に上海テクニカルセンターを開所させ、
世界7極での開発体制を整えました。

営業・技術が一体となって、
各国/地域で各様なニーズに応え、
クルマの価値を最大化する商品を開発・提案することで、
世界の市場で普及に貢献してまいります。



顧客ニーズを満たすという点では、
当然価格面にも配慮する必要があります。
コスト競争力を高めるため、
まずは国内中心に進めてきたダントツ工場づくりを、
グローバルへ展開してまいります。

これまでは、その準備段階としてグローバルな
生産体制を整備してまいりました。

今後は、製造する製品の特性にあわせて、
また、各国・地域の固有の状況・特徴を生かしながら、
それぞれが、地域No.1のダントツなモノづくりを進めることで、
コスト競争力を強化してまいります。

地球と生命を守り、
次世代に明るい未来を届けたい。



地球環境の維持

安心・安全

にこだわり、今後10年の私達の使命として取り組む

DENSO

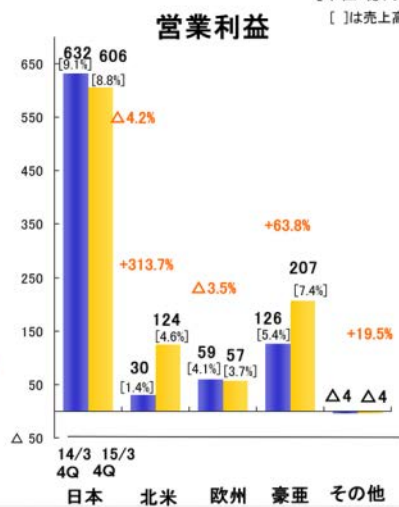
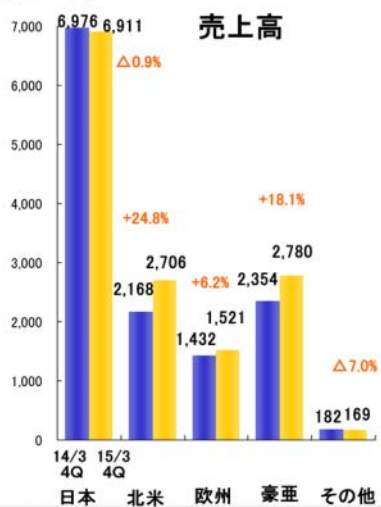
- 2015年3月期 第4四半期(3ヶ月)
所在地別セグメント情報(前年比)
- 単独決算概要
- 前提となる為替レート／車両生産台数
- 得意先別売上
- 製品別売上
- 設備投資・償却費・研究開発費

2015年3月期 第4四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比) 32

【円貨ベース】

円貨ベース

【単位：億円】
[]は売上高比



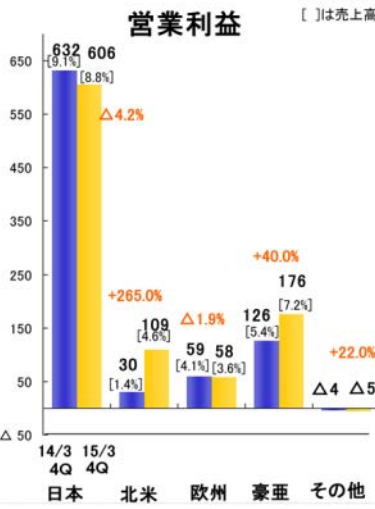
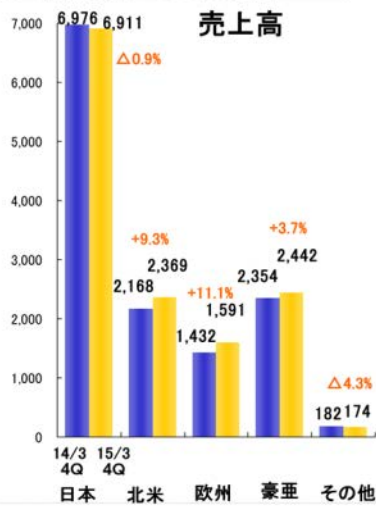
DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without prior consent, it may not be reproduced or given to third parties.

2015年3月期 第4四半期(3ヶ月) 所在地別セグメント情報(前年比) 33

為替の影響を除いた現地通貨ベース

【単位：億円】
[]は売上高比



DENSO

損益計算書

()内は売上高比

【単位：億円、%】

科 目	15/3期実績		14/3期実績		前年比	
	増減額	増減率	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	(100.0)	24,372	(100.0)	24,908	△ 536	△2.2
売上原価	(86.2)	21,007	(84.7)	21,102	△ 96	
販売費及び一般管理費	(6.9)	1,670	(6.3)	1,572	98	
営業利益	(7.0)	1,695	(9.0)	2,233	△ 538	△24.1
営業外収益		699		760	△ 61	
経常利益	(9.8)	2,394	(12.0)	2,993	△ 599	△20.0
特別損益		278		△ 32	310	
税引前当期純利益	(11.0)	2,672	(11.9)	2,961	△ 289	△9.7
当期純利益	(8.1)	1,982	(8.8)	2,197	△ 215	△9.8

		上期			下期			15/2通期			16/2通期	
		前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	前年実績	当年実績	前年比	予想	前年比
		為替レート (円)	USD	99	103	4.2円 円安	102	117	15.2円 円安	100	110	9.7円 円安
	EUR	130	139	8.9円 円安	139	139	0.1円 円高	134	139	4.4円 円安	125	14円 円高
1円変動の 利益影響額 (億円)	USD							28	25	-3	25	-
	EUR							8	7	△ 1	7	-
日系車種生産 台数 (万台)	国内	453	459	+1%	496	463	△ 7%	949	921	△ 3%	909	△ 1%
	北米	266	299	+13%	277	302	+9%	543	600	+11%	637	+8%
	海外日系車	869	913	+5%	900	921	+2%	1,770	1,834	+4%	1,804	+4%

【単位:億円, %】

区分	15/3期実績(累計)		14/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
トヨタ	18,465	42.9	18,286	44.6	178	1.0
ダイハツ	1,056	2.5	1,143	2.8	△ 88	△ 7.7
日野自動車	550	1.3	528	1.3	22	4.2
トヨタグループ計	20,071	46.7	19,958	48.7	113	0.6
本田技研	3,116	7.2	2,854	7.0	262	9.2
現代・起亜	1,407	3.3	1,142	2.8	265	23.2
G M	1,299	3.0	1,184	2.9	116	9.8
クライスラー	1,174	2.7	893	2.2	281	31.4
スズキ	1,081	2.5	1,000	2.4	81	8.1
マツダ	1,054	2.4	869	2.1	184	21.2
フォード	1,037	2.4	961	2.4	75	7.8
フィアット	904	2.1	843	2.1	61	7.2
V W ・ A U D I	858	2.0	757	1.8	101	13.4
富士重工	747	1.7	709	1.7	39	5.4
日産自動車	573	1.3	515	1.3	57	11.2
いすゞ	515	1.2	545	1.3	△ 30	△ 5.5
三菱自動車	514	1.2	490	1.2	24	4.8
B M W	410	1.0	338	0.8	72	21.3
ベンツ	345	0.8	317	0.8	28	9.0
ジャガー・ランドローバー	218	0.5	160	0.4	58	36.3
P S A	209	0.5	218	0.5	△ 10	△ 4.6
その他メーカー	2,756	6.4	2,651	6.5	105	4.0
O E M 計	38,287	88.9	36,404	88.9	1,883	5.2
※ 市販・新事業他	4,800	11.1	4,555	11.1	245	5.4
合計	43,088	100.0	40,959	100.0	2,128	5.2

※ OES(メーカー補給含む)、一般市販、新事業、設備売上等を含む



©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without further consent, it may not be reproduced or given to third parties.

【単位:億円, %】

区 分	15/3期実績(累計)		14/3期実績(累計)		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
ハ ー ワ ト レ イ ン	15,290	35.5	14,334	35.0	956	6.7
熱	12,295	28.5	11,409	27.8	886	7.8
情 報 安 全	6,266	14.5	6,286	15.3	△ 20	△ 0.3
電 子	3,732	8.7	3,828	9.4	△ 96	△ 2.5
モ ー タ	3,023	7.0	2,867	7.0	156	5.4
空 調 冷 熱	1,143	2.7	1,047	2.6	96	9.2
そ の 他 ※	676	1.6	575	1.4	101	17.6
自 動 車 分 野 計	42,425	98.5	40,345	98.5	2,080	5.2
産 業 ・ 生 活 関 連 機 器	517	1.2	458	1.1	59	12.9
そ の 他	145	0.3	156	0.4	△ 11	△ 7.1
新 事 業 分 野 計	662	1.5	614	1.5	48	7.8
合 計	43,088	100.0	40,959	100.0	2,128	5.2

※ 設備売上、補修品、子会社オシノコブランド製品等

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. Without prior consent, it may not be reproduced or given to third parties.

設備投資・償却費・研究開発費

38

【単位:億円】

		14/3期 実績	15/3期 実績	増減率	16/3期 予想	増減率
設備投資	日本	1,560	1,891	21.2%	1,830	▲3.2%
	北米	433	485	12.0%	450	▲7.2%
	欧州	279	302	8.2%	280	▲7.3%
	豪亜	886	838	▲5.4%	760	▲9.3%
	その他	83	44	▲47.0%	30	▲31.8%
	合計	3,241	3,561	9.9%	3,350	▲5.9%
償却費	日本	1,309	1,446	10.5%	1,478	2.2%
	北米	188	234	24.5%	290	23.9%
	欧州	143	163	14.0%	185	13.5%
	豪亜	302	428	41.7%	480	12.1%
	その他	30	36	20.0%	37	2.8%
	合計	1,972	2,307	17.0%	2,470	7.1%
研究開発費		3,687	3,964	7.5%	4,000	
(売上高比)		(9.0%)	(9.2%)		(8.9%)	0.9%

DENSO

©DENSO CORPORATION. All rights reserved.
This information is the exclusive property of DENSO CORPORATION. It shall not be reproduced, stored in a retrieval system, or transmitted in any form or by any means, electronic, mechanical, photocopying, recording, or otherwise, without the prior written permission of DENSO CORPORATION.